



じとぜんひろば

No.114 2024年(令和6年)4月1日

地御前地区自治会

地御前地区自治会Webはこちらから↓



点火前の様子。700名以上の老若男女が集まった。

地御前恒例のどんど 大勢の参加者で賑わう

地御前郷土文化保存会主催

令和6年1月14日(日)地御前郷土文化保存会主催で恒例の「どんど」が地御前漁協資材置き場で開催された。

日本酒やビール、ぜんざい450杯、牡蠣600個、紅白餅300個が配られた。これらは、同保存会のほか、地御前漁協、自治会、民生委員、ハッピーオレンジ保護者の協力で振舞われた。

大勢の参加者が見守る中、正午に年男女により藁の松明で櫓に点火され、地御前小学校児童の書初や正月の飾り物などがお焚き上げされ、火は一気に燃え上がり、パン・バンと竹の弾ける大きな破裂音が響いた。

火が一段落した後、家族・友人と持参の餅網で餅や芋を焼き、また子どもたちも熾火でマッシュマロを炙って頬張り、楽しそうだった。

この日は、ハッピーオレンジの子どもたちが能登半島地震の復興支援募金を行い、義援金は7万6千956円が集まり、中国新聞社会事業団を通じて災害支援に贈られた。



焼き牡蠣やぜんざいが無くなるまで長蛇の列が続いた。



点火直後のようす。



当日朝に切ってきた竹に書初めを結び付けた。

おさんぽ

作:MARICO



トピックス
地域医療拠点が完成
6月3日(月)新棟
グラウンドオープン決定

令和元年8月の立体駐車場工事に始まり、令和4年3月のサービスタワー高層者向け住宅学研ココファン廿日市・多世代サポートセンターの完成を経て、令和4年4月から建設が始まったJA広島総合病院西側の新棟が、令和6年3月末で主な工事を完了した。これにより「福祉機能」「医療機能」「まちづくり機能」の連携を擁する「廿日市地域医療拠点整備事業」が実現する。

6月からの全面運用に向けて、地御前地区自治会町



内会事業部の町内会長会議でJA広島総合病院関係者から説明が行われた。

屋上ヘリポートは、広島大学ドクターヘリ、広島市消防ヘリ、広島県防災ヘリを受け入れるが、消防ヘリや防災ヘリの発着は非常時のみで、ドクターヘリの頻度は週一回程度を想定している。

4月26日(金)午後1時(3時にヘリコプターの離発着訓練を行うので、騒音の程度を各自で確認ができる。屋上ヘリポートは地上40mにあるため、ヘリの運用で地上に風害の影響は生じない予測。広島県ドクターヘリ運航時間に併せて午前8時半から5時まで(土・日を含む)。夜間の離着陸は原則として行わない。

【新棟の概要】8階+屋上ヘリポート、新規のCT・MRI・リニアック設置、手術室10室(手術支援ロボット「ダヴィンチ」設置室を含む)、個室の多い病棟、1階に新しいカフェなど。



断水時に活用 地御前市民センター井戸

エレベーター設置工事と併せて駐車場廻りも整備され、自転車置き場が建て替えられた。そこにあった井戸は撤去予定であったが、地御前地区自主防災会の要望で残されることとなり、整備された。飲料水としての使用はできないが、いざという時に活用される。



編集後記

★「親切にすることの中には、赦すこと、人を裁かないことが含まれる」地域活動を担う親切な皆さんの振り舞いからもその通りだと思ふ。★敗戦時の海外日本人は文字通り難民だった。幼い子どももどんな目に遭うか分からない。いざという時に飲みなさいと母親から「青酸カリ」を渡されたという。戦争は本当に恐ろしい。

★能登半島地震義援金が地御前地区自治会をはじめ関係諸団体から中国新聞社会事業部を通じて寄金され、翌日同紙で紹介されています。今後も折に触れ義援金の寄金には協力し、罹災地区の一日も早い復旧復興を願うばかりです。 Y・Y

★投稿をよろしくお願ひします。

RX[E]15645@nifty.ne.jp
 まい。

【発行】
 地御前市民センター内
 地御前地区自治会 広報事業部



腕前だけで勝敗が決まらないところがおもしろい

ペタンク大会

令和6年2月24日(土) 地御前小学校校庭で、自治会体育事業部主催の「ペタンク大会」が開催された。

ペタンクは、赤のピットを投げ、それを目当てに銀色と黒色の鉄球をチーム毎に投げたり転がして、カーリングの要領で勝敗を決めるゲームである。

大会には、小学校低学年から高齢者まで36名が参加した。

競技開始前にハッピーオレソングが「ハルカ」と「スター」の2曲のダンスを披露してくれた。高学年から低学年までの18名の子供たちが体を



目視だけで判断できない時は計測して判定

大きく使った振付けで踊る姿はとても楽しそうであった。大会1次リーグは、AとDの4コートに分かれて行われ、審判はAとD順に小林・新田・向井・角山の各氏。インングが変わる度、投げ場所・方向、また、グラウンドの傾斜・凹凸が変わるので、ゲームがより盛り上がりつつあった。

今年の決勝リーグは、昨年優勝の吉田チームとシニア男女混成の吉本みなよチームの対戦となり、接戦の末、吉本みなよチームの優勝となった。

時折冷たい風も吹いたが快晴の日差しに恵まれ、気持ちの良い1日をみんなで過ごせていた。



地御前市民センターエレベーター完成

昨年11月の着工から4ヶ月の工期を経て、地御前市民センターのエレベーター、トイレ、湯沸室などの改修工事が完了し、2月29日(木)に引き渡しが行われた。



操作ボタンはタッチレス機能付

エレベーターは11人乗りなので、車いすの方もゆとりをもって利用できる広さだ。足の不自由な方の2階の利用がしやすくなっただけでなく、資材・機材の運搬も安全にできるようになった。特に調理室を使う活動が便利になるだろう。

湯沸室は座ったままでも作業がしやすい形状のものに改修されている。車いすでの利用にも配慮されたものとなった。



2階の湯沸室

多目的トイレには子ども用の便座やおむつ交換シート、靴を脱いで着替えの時に利用する踏み台や新型のオストメイトが設置されている。洗面鏡の壁面は甘日市産の杉板が用いられている。



男女共にトイレブースにベビーチェアがある。



多目的トイレ

VOICE 2023

「今、私が思うこと」

2023年11月5日(日) 27回目を迎えた甘日市市内の小・中学生の弁論大会であるVOICE2023が(主催)甘日市子ども会育成連絡協議会・後援)甘日市市ほか)ウッドワンさくらびあ小ホールで開催されました。地御前小学校からは6年生・島村成くんが選ばれて発表しました。

その後、11月28日(火)に地御前小学校体育館で行われた地御前小学校150周年記念式典でも、6年生による「地域の宝」プレゼンテーションを締めくくるスピーチとして発表しました。参加者の心に響くスピーチとなりました。内容を紹介します。

わたしにとつての地御前

「甘日市市に住み続けたいと思いますか?」学校で行われたアンケートで、私は深く考えず、「そう思う」に丸をしました。でもこのアンケートの後、自分に嘘をついたような気がして、甘日市市について、特に、自分が生まれ育つ

た地御前について、もう一度、きちんと考えてみようと思いました。

私の家は、海沿いにあります。家からは地御前の海が見渡せます。かきいかだや漁船、魚の群れが見えたり、冬には、渡り鳥がやってきたりします。日の出も見え、夜にはきれいな月が海にうつります。自然が豊かで大好きな海です。

また、地域の方と一緒に地御前の史跡めぐりをしたことがあります。地域の方が、一つ一つ丁寧に説明してくださいました。目立たないような小さな神社にも、多くの歴史と、それを大切に守る人々の深い思いがあることを知り、驚きました。

毎日登下校中を通る地御前神社では、馬飛ばし、管絃祭りと、有名な神事が行われます。小さい頃から行っていた楽しい祭は、実はずっと昔から、地域の方が絶やすことなくつないできた行事であることとを、少しずつ理解できるようになりました。それまで、車や自転車を通り過ぎていた場所も道も、なんだかとても大切なものに思えるようになりました。

地御前では、冬にとんど祭があります。保育園のころに、そのお祭りで焼きがきを食べることがありました。その時、地域の方が、「楽しんでね。」と言いながら熱々の焼きがきを渡してくださったのです。

今、この言葉をふり返ると、「お祭りを楽しんでね。」という意味だけではなく、「お祭りの中で、地域の人との対話やつながりを楽しんでね。」という意味だったのかもしれない。「友達や家族との、地御前での時間を楽しんでね。」という意味が、いずれにせよ、「人とのつながりを楽しんで、たくさん思い出を作ってほしい。」

「この素晴らしい地御前を、次の世代に受けついでほしい。」という意味だったと、今の私は感じています。

自然の豊かな海も、史跡や神事も、地御前に住み続けた理由の一つだけれど、私は何より地御前の地域の方が好きです。市民センター活動で昔遊びをやさしく教えてくださった方、歴史学習で丁寧に説明してくださった方、暑い日も寒い日も毎日登下校



地小150周年記念式典で発表した時のようす

を見守ってくださる方、たくさんの方々に、私はお世話になっていきます。私が毎日、安心して楽しく過ごさせているのは、地御前の地域の方々がいてくださるからです。本当に大切な存在です。

こう考えてくると、豊かな自然の中で伝統が守られ、この地御前が、地御前であり続けられるのは、そこに暮らしている地域の方のおかげで、そのことが地御前、そして甘日市に、私が住みたい理由だということをはっきりとわかりました。

次は自信をもって、「甘日市市に住み続けたい。」と答えたいと思います



地御前小150周年記念クリアファイルプレゼント

地御前小学校創立150周年を記念して撮影した空撮画像をプリントしたクリアファイルを地御前小学校PTAが作成し、児童や学校・地域関係者にプレゼントしました。PTAから自治会にプレゼントされた一部を活用させて頂き、地御前地区自治会公式ライン普及キャンペーンの一環として、自治会公式ラインを通じて応募メッセージを下さった方の中から10名様にこのクリアファイルをプレゼントします。締め切り4月末。